

分野別成果動向一覧 第2章「人づくり・心そだて」

《施策別成果動向一覧》

節	番号	施策名	成果動向	まちづくり指標の推移						成果指標の推移							
				対基準値			対前年度			対基準値				対前年度			
				改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可
学校教育	10	子どもたちにとって楽しい学校をつくる	順調でない	1	0	1	0	0	2	2	1	6	0	1	0	8	0
	11	学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える	横ばい	1	0	1	2	0	0	3	0	1	0	2	0	2	0
社会教育	12	青少年が健全で心豊かに成長できる環境をつくる	順調	2	0	0	1	0	1	4	0	0	0	1	0	3	0
	13	マナーが守られ思いやりにあふれる地域をつくる	順調でない	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0	2	0	1	0
	14	楽しみや生きがいを感じるまちをつくる	順調でない	0	0	1	0	0	1	1	0	3	0	3	0	1	0
スポーツ	15	だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちをつくる	順調でない	1	0	1	1	0	1	3	0	0	0	2	0	1	0
文化	16	文化に親しみ心豊かなまちをつくる	横ばい	0	0	1	0	0	1	2	0	1	0	2	0	1	0
文化財	17	郷土の歴史や文化を大切に継承する	順調でない	1	0	1	0	0	2	1	0	1	0	1	0	1	0

《まちづくり評価委員会の評価》

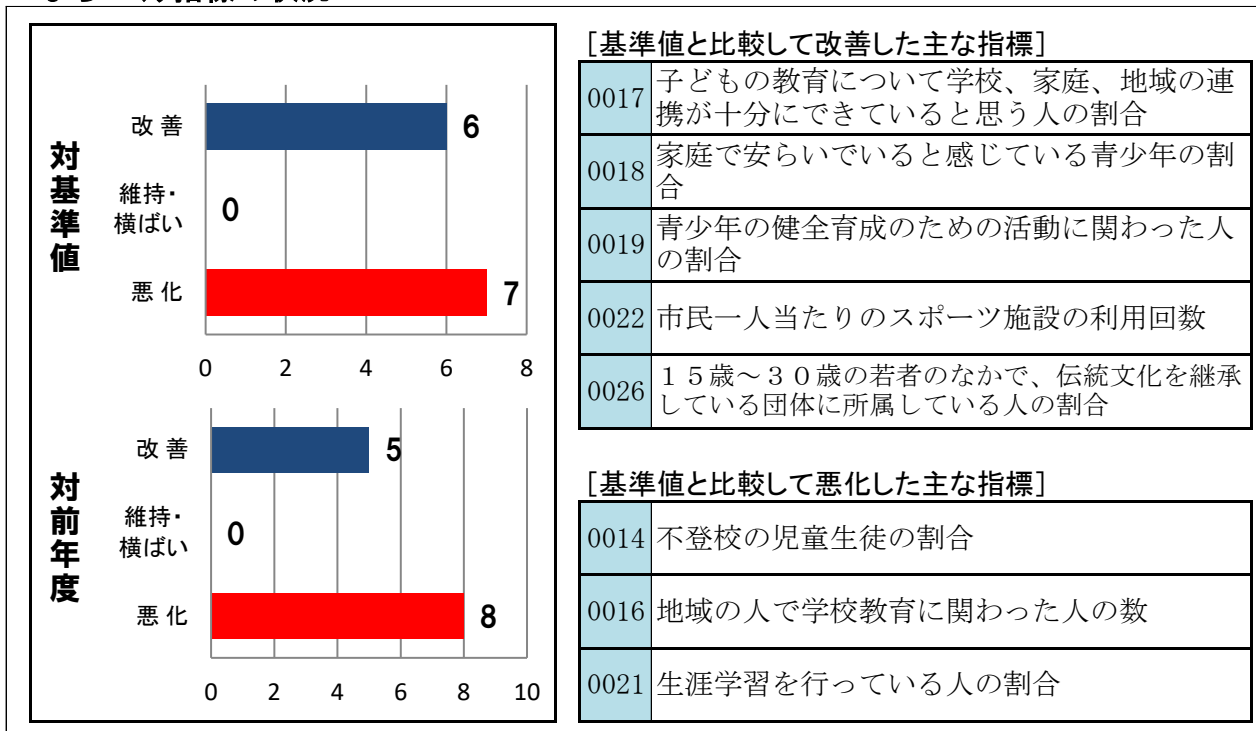
「人づくり・心そだて」分野では、まちづくり指標等の動向から判断して、施策の成果動向は、「順調」が1施策、「横ばい」が2施策、「順調でない」が5施策となり、分野全体の成果動向は、「順調でない」と評価する。

子どもたち一人ひとりが夢や希望を持って意欲的に学び、豊かな心を育むことができるよう、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの取り組みにより、子どもやその家族が抱える課題を的確に捉え、その課題解決に向け、地域と連携した取り組みや不登校対策などの各施策の取り組みを充実させる必要がある。

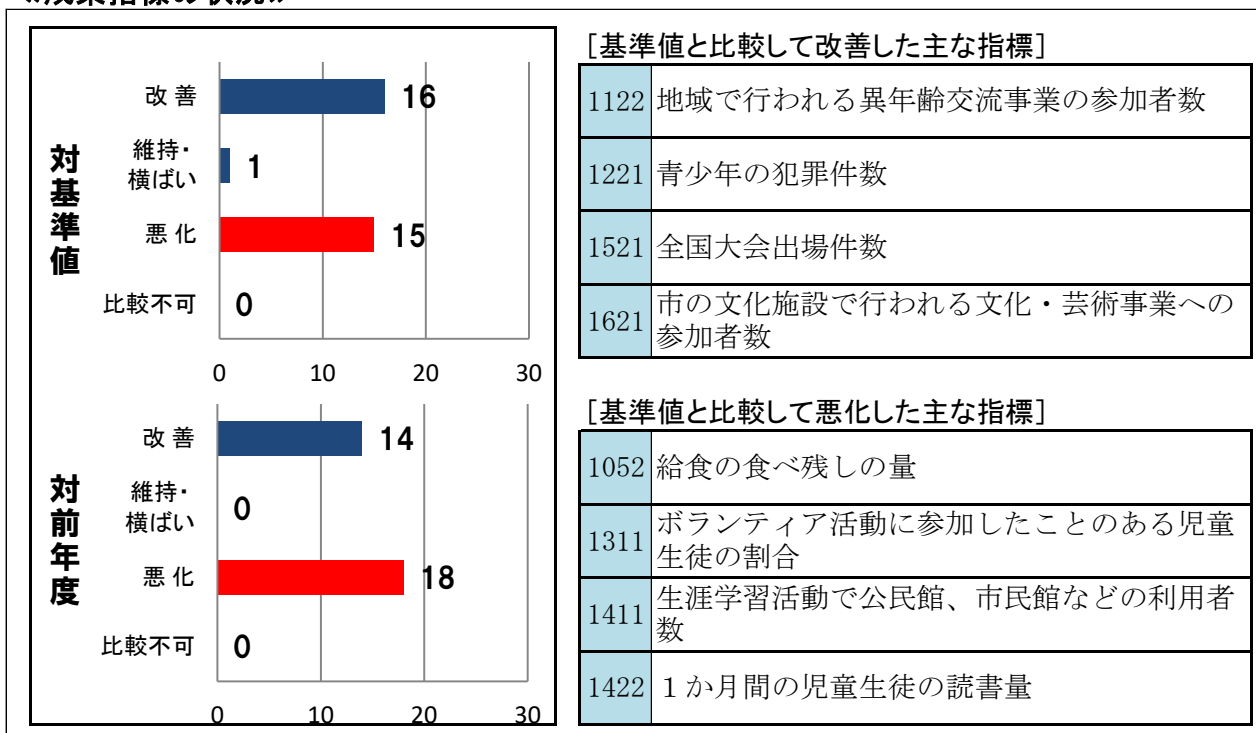
また、楽しみや生きがいを持つことができるように、スポーツだけではなく文化的な活動や、伝統文化に触れ合う機会の創出に努める必要がある。

- [施策10] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調でない」と評価する。
- [施策11] まちづくり指標、成果指標の動向から「横ばい」と評価する。
- [施策12] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調」と評価する。
- [施策13～15] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調でない」と評価する。
- [施策16] まちづくり指標、成果指標の動向から「横ばい」と評価する。
- [施策17] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調でない」と評価する。

《まちづくり指標の状況》



《成果指標の状況》



《第2章「人づくり・心そだて」指標の状況》

【まちづくり指標】「子どもの教育について学校、家庭、地域の連携が十分にできていると思う人の割合」など、基準値と比較して6指標、分野全体で46.2%が改善した。

一方、基準値以下となった指標は「不登校の児童生徒の割合」はじめ7指標（53.8%）となった。

【成果指標】「地域で行われる異年齢交流事業の参加者数」はじめ16指標、分野全体で50.0%が基準値より改善した。また、基準値以下となった指標は、15指標（46.9%）で、前年度より悪化した指標は、18指標（56.3%）となった。

章 02 人づくり・心そだて
 節 01 学校教育
 施策 10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる

理念 いきいき

施策主管課【学校教育課】

めざすまちの姿

子どもたちにとって学校が楽しく、不登校児童生徒が少ない

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

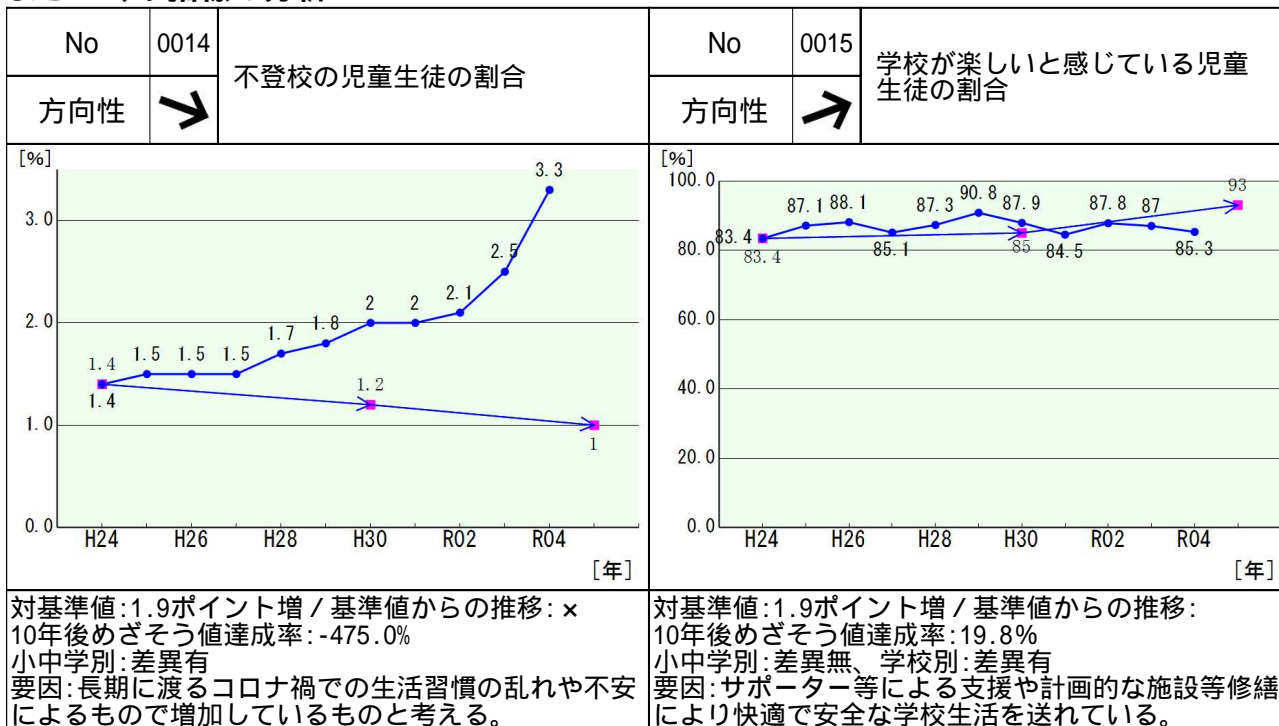
子ども一人ひとりが、確かな学力を身につけ、豊かな心を育む教育内容の充実に努めます。学校生活をとおして、人間として成長と発達を続けていく基盤となる力を養い、学校に楽しく通えるようにします。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	個性と能力が伸びる授業をつくる	438,862	436,423
02	いじめ・不登校対策を充実させる	35,017	33,239
03	快適で安全な学校生活を充実させる	3,635,245	3,496,398
04	出会いと体験の場を提供する	106,024	104,378
05	食の大切さと楽しさを理解させる	867,361	866,547
施策合計		5,082,509	4,936,985

まちづくり指標の分析



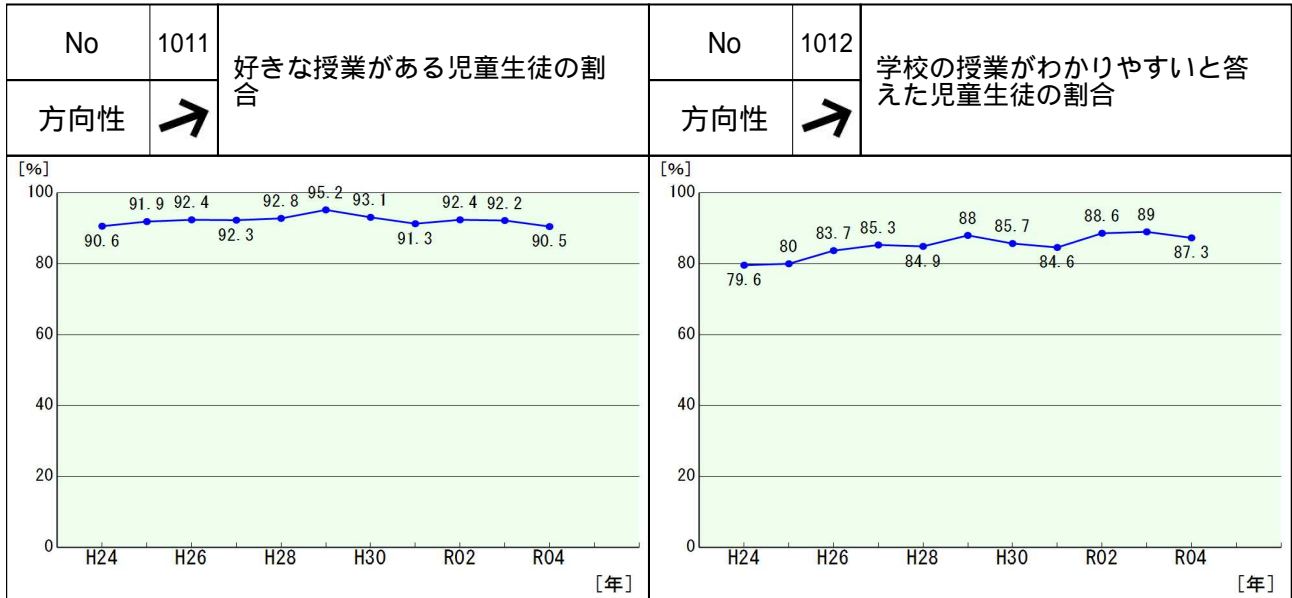
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、順調でないとして評価する。
 「不登校の児童生徒の割合」は、基準値及び前年度からともに悪化しており、課題のある児童生徒の背景、ニーズの多様化や、長期に渡るコロナ禍での生活習慣の乱れや不安、中1ギャップが大きかったことが要因と考える。また、「学校が楽しいと感じている児童生徒の割合」は、基準値から横ばいであり、サポーター等による支援や計画的な施設等の修繕により安全な学校生活を送れていることも要因の一つと考える。
 引き続き、スクールソーシャルワーカー等と小・中学校が連携し、課題解決に向けた早期支援に努めるとともに、快適で魅力的な学校づくりへの取り組みを進めていく必要がある。

施策 10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる
 単位施策 01 個性と能力が伸びる授業をつくる

単位施策主管課【学校教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

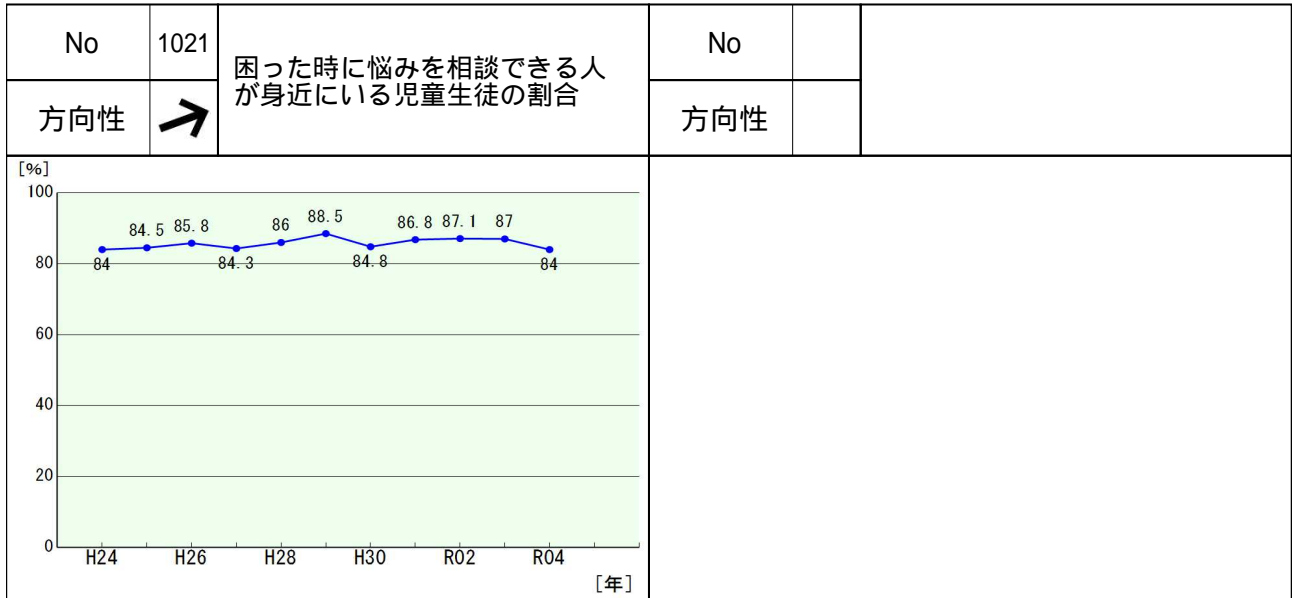
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 「好きな授業がある児童生徒の割合」は基準値から横ばい、「学校の授業がわかりやすいと答えた児童生徒の割合」は基準値を上回っている。これは、教職員のニーズに対応した、少経験者からベテランまで参加する幅広い研修を行い、教職員の資質向上が図られ、授業改善に向けた取り組みを実施したことにより、児童生徒が「好き、分かりやすい」と実感する授業につながったと考える。
 今後も児童生徒の学力向上に繋げるため、教職員のニーズや課題を把握し、それに応じた研修を企画し、専門性の高い講師の発掘に努め、教職員全体の指導力向上を図っていく。

施策 10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる
 単位施策 02 いじめ・不登校対策を充実させる

単位施策主管課【学校教育課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

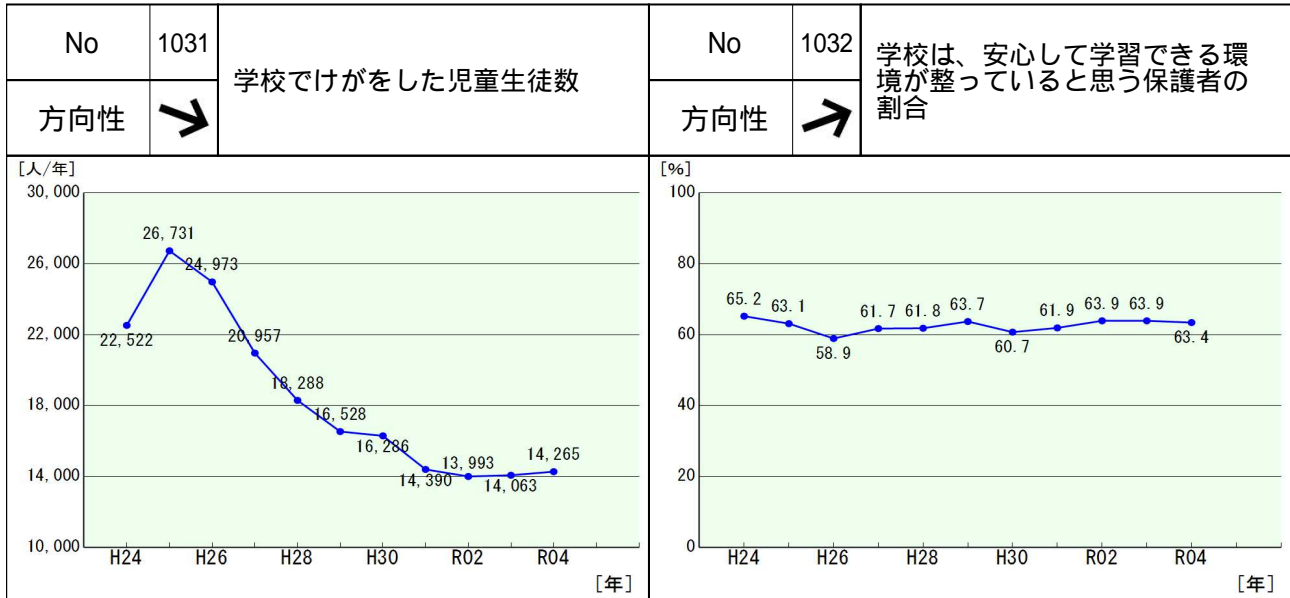
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 成果指標は基準値から横ばいである。その理由としては、スクールソーシャルワーカー、心の相談員やスクールカウンセラーの配置、不登校における自立支援としての適応指導教室など、多方面からいじめ・不登校対策に取り組んでおり、また、コロナ禍には実施できなかった「青空教室」を開催するなど、交流活動を通じた成果もあったものとする。
 課題のある児童生徒は増加しており、家庭環境や養育の状況が複雑化するなど、必要な支援が多様化しているため、改善に時間がかかることから、今後も引き続き関係機関と連携し不登校の未然防止・初期対応・自立支援に努める。

施策 10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる
 単位施策 03 快適で安全な学校生活を充実させる

単位施策主管課【学校教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

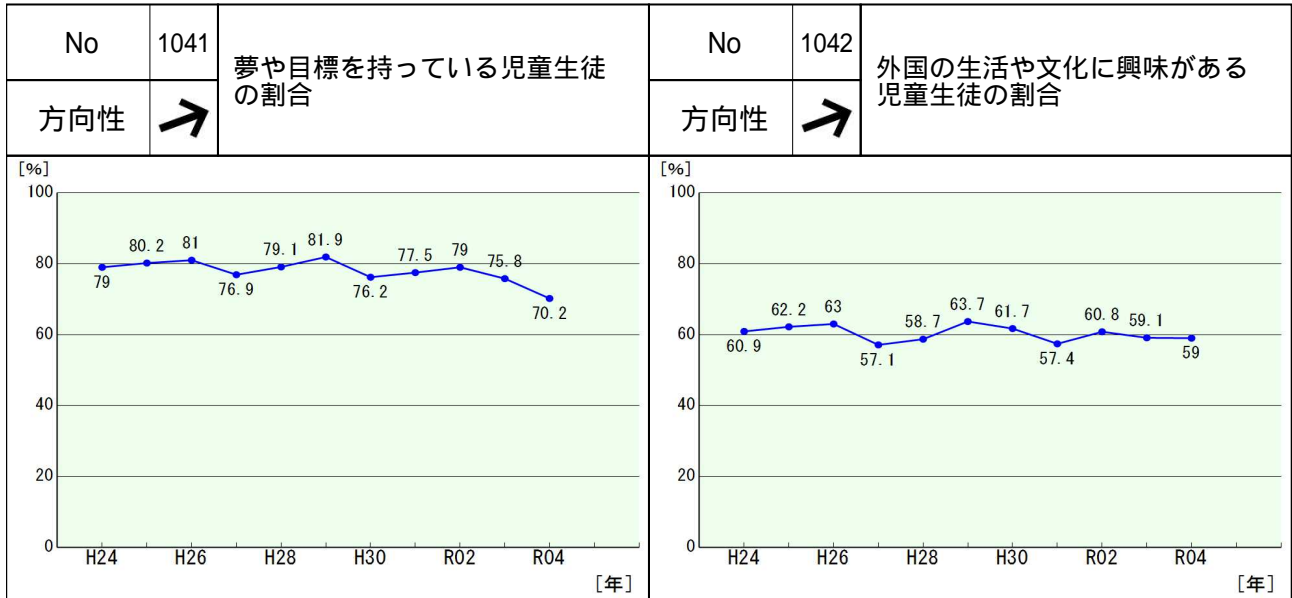
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 「学校でけがをした児童生徒数」は基準値から8,257人減り、順調に改善している。その理由は、サポーター等の配置による支援や計画的な施設等修繕の効果と考える。また、「学校は、安心して学習できる環境が整っていると思う保護者の割合」は基準値から1.8ポイント低下しているものの横ばいであり、サポーター等の支援により安心した学校生活を送れているものと考えられる。
 今後は、施設を安全に維持していくための長寿命化計画の実施や、施設等の老朽化に対する安全対策、外壁改修・非構造部材の耐震化改修などを計画的に実施していく。

施策 10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる
 単位施策 04 出会いと体験の場を提供する

単位施策主管課【学校教育課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

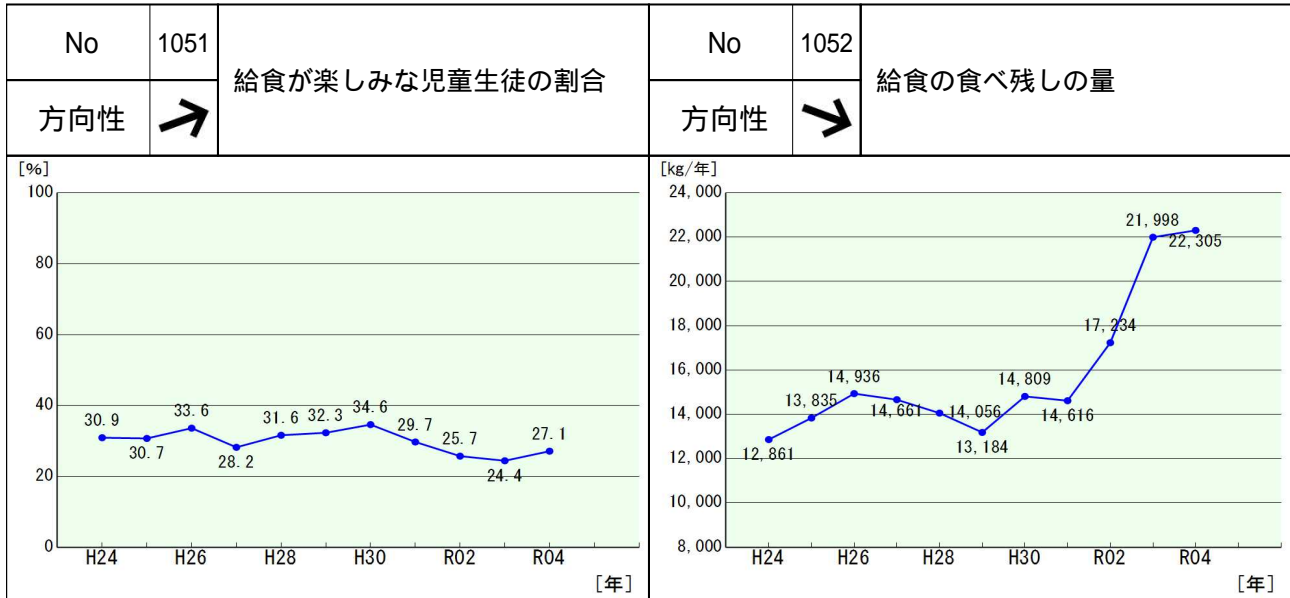
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
 「夢や目標を持っている児童生徒の割合」は、基準値から8.8ポイント低下しており、また、「外国の生活や文化に興味がある児童生徒の割合」は、基準値から1.9ポイント低下している。その理由としては、新型コロナウイルス感染症により、部活動や学校行事等の活動を縮小・自粛したことで、挑戦する意欲や能力を開発する機会が減少したことや、海外姉妹都市との交流が未実施であったことにより、夢や目標を描くことが難しかったものとする。
 体験事業などにより、未来を担う子どもたちが新たな出会いや実体験を通じて将来の夢や目標につなげることができるよう、今後も「生きる力」を養う教育を推進する必要がある。

施策 10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる
 単位施策 05 食の大切さと楽しさを理解させる

単位施策主管課【学校教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
 「給食が楽しみな児童生徒の割合」は基準値から3.8ポイントの低下、「給食の食べ残しの量」は、基準値から9,444kg増加している。その理由は、新型コロナウイルス感染症の影響による急な欠食や学級閉鎖が増えたこと及び食事時間の減少などにより残食の量が増加し、会話をしない黙食により、給食を楽しみと感じる児童生徒が減少していると考えられる。
 今後は、献立の工夫等、児童生徒にとって魅力のある献立を充実させ、残さず食べることで健康な体になるなどの食育指導を行い、児童生徒の給食への興味、食べる意欲を高めることで、食べ残しの量を減らす取り組みを実施していく必要がある。

章 02 人づくり・心そだて
 節 01 学校教育
 施策 11 学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える

理念 ふれあい

施策主管課【学校教育課】

めざすまちの姿

子どもの健全な成長に対して、学校、家庭、地域などが連携している

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

学校、家庭、地域が連携して、地域全体で子どもの教育を担っていきます。
 地域との関わりをとおして、遊びやさまざまな人とのふれあいから、思いやりや責任感を身につけ、社会の担い手となれる教育を進めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	地域に開かれた学校をつくる	5,938	5,401
02	笑顔と愛にあふれる子どもを地域の連携で育てる	23,765	21,453
施策合計		29,703	26,854

まちづくり指標の分析

No	0016	地域の人で学校教育に関わった人の数	No	0017	子どもの教育について学校、家庭、地域の連携が十分にできていると思う人の割合
方向性	➔		方向性	➔	
[人/年]			[%]		
対基準値:767人減 / 基準値からの推移: x 10年後めざそう値達成率: -62.6% 要因:新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、地域住民の活動を縮小・中止したことによる減少と考えるが、徐々に回復してきている。			対基準値:2.7ポイント増 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:45.0% 年齢別:差異有、職業別:差異有、学区別:差異有 要因:学校と地域をつなげる事業の実施により、学校活動への理解が進んでいる。		

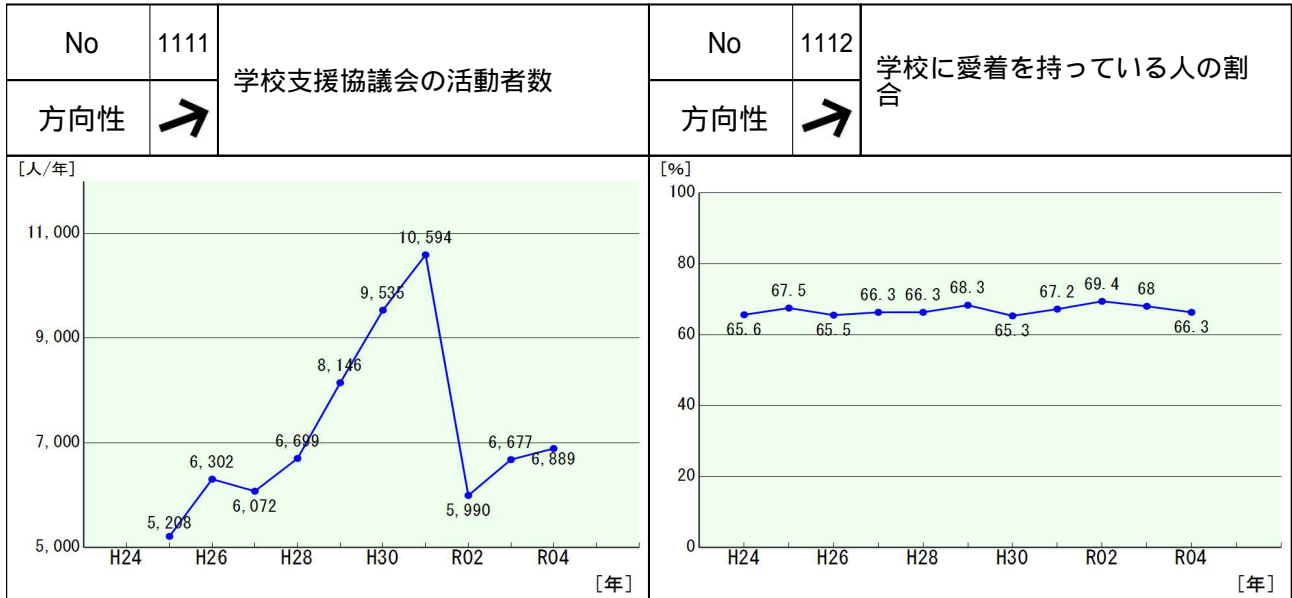
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 「学校教育に関わった人の数」は基準値から767人減少しているが、前年度から317人増加している。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため関連事業が縮小等をしてきたが、徐々に実施できるようになり回復してきたものとする。「連携が十分にできていると思う人の割合」は基準値から2.7ポイント増加している。学校支援協議会の活動や、子ども教室等の実施により学校と家庭や地域との連携への理解が進んだものとする。
 今後も、学校と家庭や地域をつなげる事業の実施や、コミュニティ・スクールの検討を進め、地域で子どもの成長を支える意識の向上に向けて取り組んでいく。

施策 11 学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える
 単位施策 01 地域に開かれた学校をつくる

単位施策主管課【学校教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

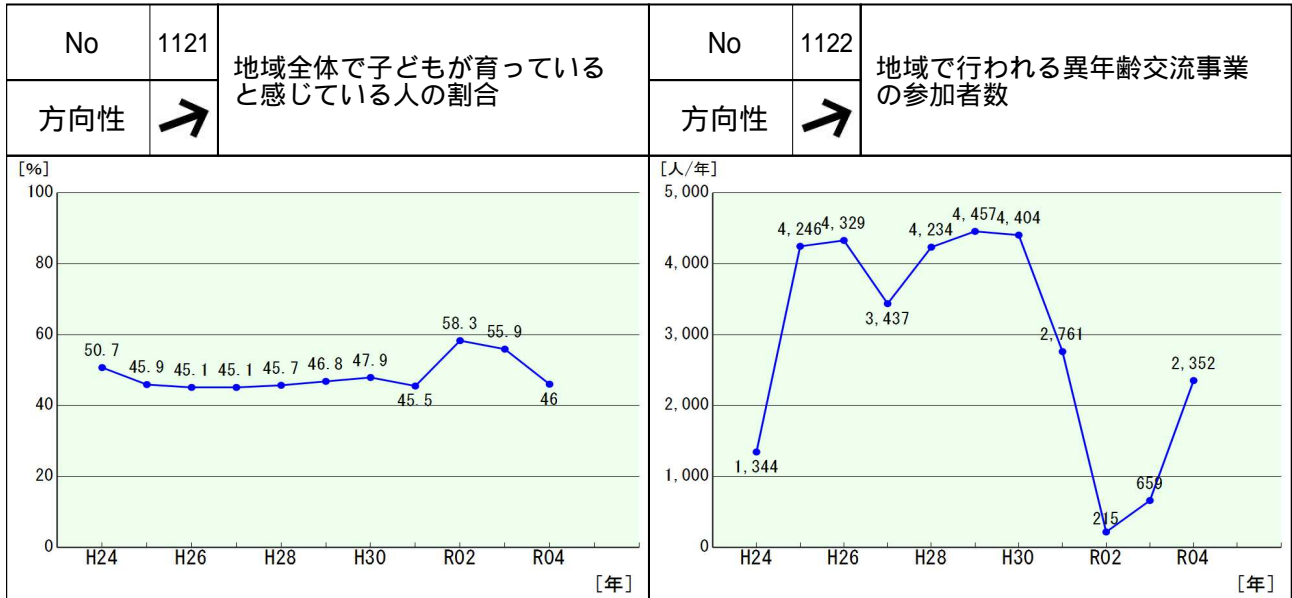
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 「学校支援協議会の活動者数」は、基準値から1,681人増加している。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度で大きく下がったものの、順調に回復しているものとする。「学校に愛着をもっている人の割合」は基準値より0.7ポイント増加しており、全校で実施している学校評価事業や小学校に設置した学校支援協議会による花壇整備や読み聞かせ等のボランティア活動などを通じて、地域や保護者と連携した学校運営を進めてきた成果とする。
 引き続き、地域と学校が連携して地域全体で学校教育を支援するとともに、学校の活動を発信していくことで、市民が学校に愛着を持つことができるよう取り組んでいく。

施策 11 学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える
 単位施策 02 笑顔と愛にあふれる子どもを地域の連携で育てる

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 「地域全体で子どもが育っていると感じている人の割合」は、基準値から4.7ポイント低下している。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、PTA活動始め地域行事が一部中止・規模縮小等したためと推測される。また、「地域で行われる異年齢交流事業の参加者数」は、基準値から1,008人増加している。これは、ふれあい交流推進事業において、あいさつ運動や環境整備活動など、参加者が気軽に参加できる活動が実施できたためと考える。
 今後も、異年齢交流を推進する事業の取り組みを継続するとともに、こども教室等の周知や、地域全体で子どもの健全な成長を支える事業を実施していく必要がある。

章 02 人づくり・心そだて
 節 02 社会教育
 施策 12 青少年が健全で心豊かに成長できる環境をつくる

理念 いきいき

施策主管課【社会教育課】

めざすまちの姿

青少年が地域や社会のなかで健全に成長している

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

さまざまな人との交流をとおして、社会性を身につけ、個性や能力を發揮して、主体的に判断・行動できる青少年の育成に努めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	青少年が活躍する場をつくる	5,120	4,877
02	青少年の非行を防止する	5,747	5,377
施策合計		10,867	10,254

まちづくり指標の分析

No	0018	No	0019																												
方向性	➔	方向性	➔																												
	家庭で安らいでいると感じている青少年の割合		青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合																												
<table border="1"> <caption>家庭で安らいでいると感じている青少年の割合</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>割合 [%]</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>84.5</td></tr> <tr><td>H26</td><td>85.8</td></tr> <tr><td>H28</td><td>86.1</td></tr> <tr><td>H30</td><td>87</td></tr> <tr><td>R02</td><td>87.2</td></tr> <tr><td>R04</td><td>90.0</td></tr> </tbody> </table>		年	割合 [%]	H24	84.5	H26	85.8	H28	86.1	H30	87	R02	87.2	R04	90.0	<table border="1"> <caption>青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>割合 [%]</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>4.4</td></tr> <tr><td>H26</td><td>5.1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>5.7</td></tr> <tr><td>H30</td><td>5.2</td></tr> <tr><td>R02</td><td>4.7</td></tr> <tr><td>R04</td><td>7.8</td></tr> </tbody> </table>		年	割合 [%]	H24	4.4	H26	5.1	H28	5.7	H30	5.2	R02	4.7	R04	7.8
年	割合 [%]																														
H24	84.5																														
H26	85.8																														
H28	86.1																														
H30	87																														
R02	87.2																														
R04	90.0																														
年	割合 [%]																														
H24	4.4																														
H26	5.1																														
H28	5.7																														
H30	5.2																														
R02	4.7																														
R04	7.8																														
対基準値:4.4ポイント増 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:80.0% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:市内小中学校での出前教室の効果と想定。		対基準値:1.0ポイント増 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:29.4% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:街頭パトロール活動の推進により微増していると想定。地域との関わりが強い自営業が高い。																													

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、順調と評価する。

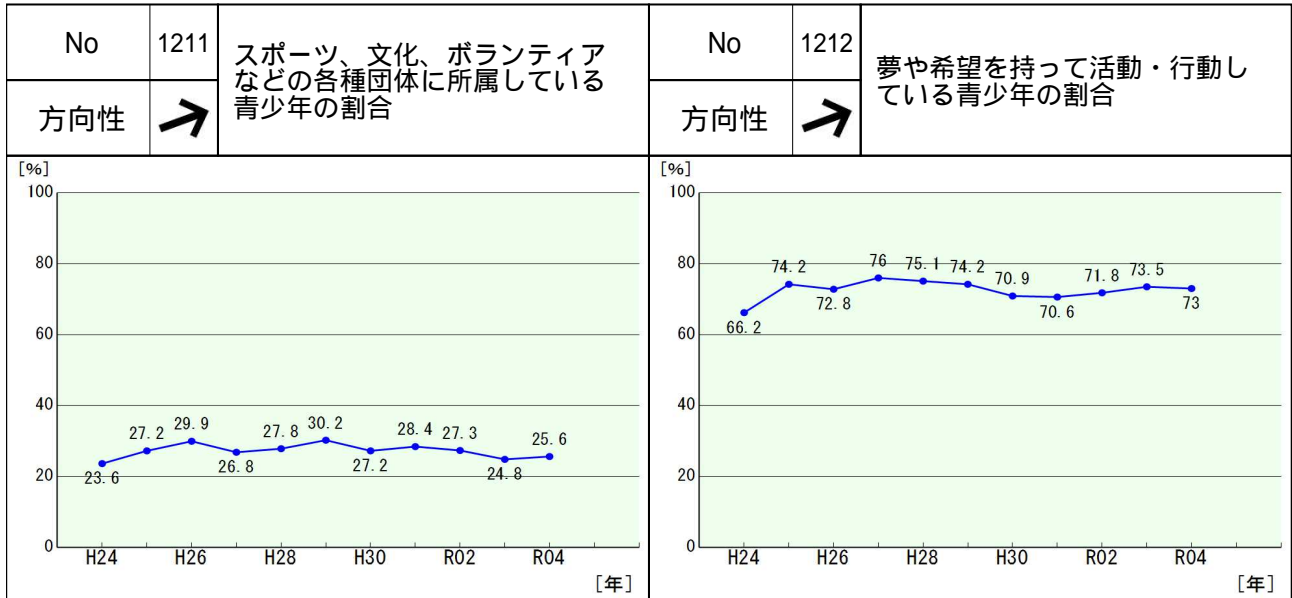
「家庭で安らいでいると感じている青少年の割合」は対基準値で4.4ポイント向上している。これは、家庭内等でのネットトラブル防止に関する市内小学校への出前講座等が児童のトラブル回避につながったことや、コロナ禍で自宅で過ごす青少年が多かったこと等によるものと考えられる。「青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合」は対基準値で1.0ポイント向上しており、地域住民と連携し、街頭パトロール活動を推進できたことによるものと考えられる。

今後も、関係機関や地域との連携を深め、地域で青少年の健全育成及び非行防止の啓発を行っていく。

施策 12 青少年が健全で心豊かに成長できる環境をつくる
 単位施策 01 青少年が活躍する場をつくる

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

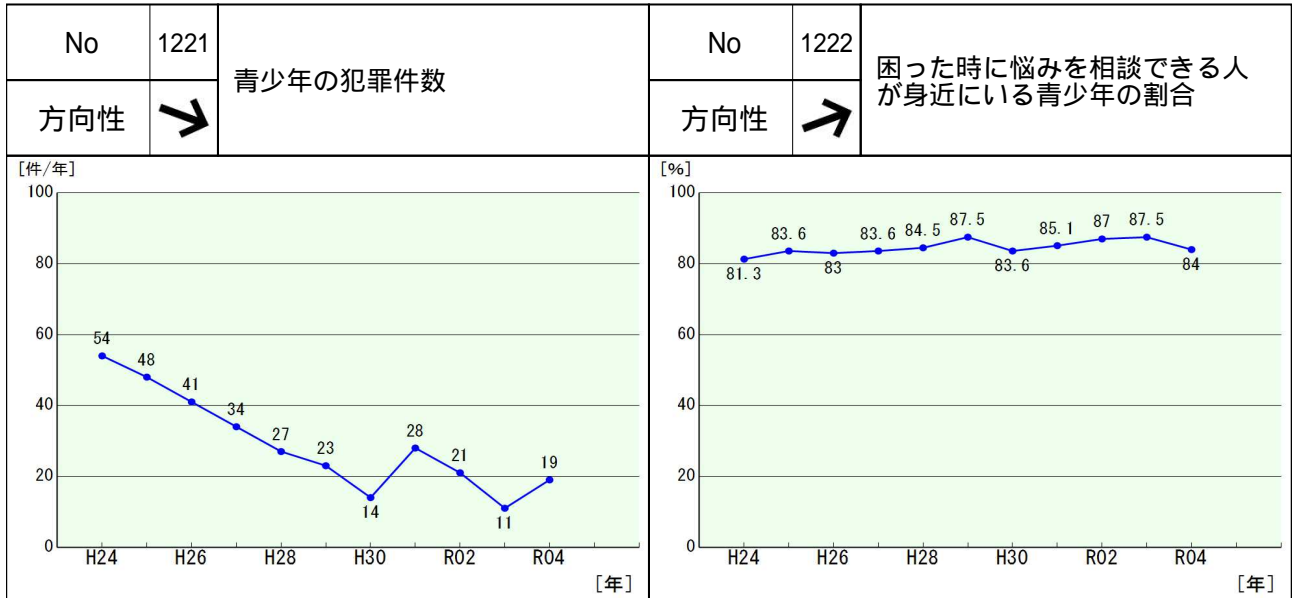
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
 「スポーツなどの各種団体に所属している青少年の割合」は、基準値から2.0ポイント向上している。その理由としては、スポーツ等各種団体の活動が魅力的で、学生を中心に所属が多いことが要因と考える。「夢や希望を持って活動・行動している青少年の割合」は、基準値から6.8ポイント向上している。これは、20歳の集い実行委員会など様々な活動を通じて青少年が活躍できる環境を形成してきたためと考える。
 今後も引き続き、青少年が活躍できる環境を維持し、青少年の健全育成に取り組んでいく。

施策 12 青少年が健全で心豊かに成長できる環境をつくる
 単位施策 02 青少年の非行を防止する

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
 「青少年の犯罪件数」は、基準値から35件改善している。その理由としては、青少年育成センターにおける非行防止啓発、パトロールの成果と考える。「困った時に悩みを相談できる人が身近にいる青少年の割合」は、基準値から2.7ポイント向上している。その理由としては、青少年居場所づくり推進事業等により青少年と大人が交流できる環境を整えてきた成果と考える。

。今後も引き続き、青少年が大人とふれあえる機会を維持し、青少年の非行防止に取り組んでいく。

章 02 人づくり・心そだて
 節 02 社会教育
 施策 13 マナーが守られ思いやりにあふれる地域をつくる

理念 ふれあい

施策主管課【社会教育課】

めざすまちの姿

正しいマナーを子どもが身につけており、その習慣が次世代にも継承されている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

さまざまな体験や人とのふれあい、ボランティア活動などをおして、社会性を身につけ、人を思いやる心を育てます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	子どもが社会性を身につけ思いやる心を育てる	0	0
02	思いやり感謝し親切にできる地域をつくる	798	798
施策合計		798	798

まちづくり指標の分析

No	0020	この1年で人に親切にしたことのある人の割合	No																
方向性	➔		方向性																
<table border="1"> <caption>まちづくり指標の分析データ</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合 [%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>78.3</td></tr> <tr><td>H26</td><td>71.6</td></tr> <tr><td>H28</td><td>74.0</td></tr> <tr><td>H30</td><td>75.0</td></tr> <tr><td>R02</td><td>76.6</td></tr> <tr><td>R04</td><td>85.0</td></tr> </tbody> </table>			年	割合 [%]	H24	78.3	H26	71.6	H28	74.0	H30	75.0	R02	76.6	R04	85.0			
年	割合 [%]																		
H24	78.3																		
H26	71.6																		
H28	74.0																		
H30	75.0																		
R02	76.6																		
R04	85.0																		
対基準値:3.0ポイント減 / 基準値からの推移: x 10年後めざそう値達成率: -44.8% 年齢別: 差異有、職業別: 差異有、地区別: 差異有 要因: 地域における人間関係の希薄化が要因と想定。 学生等社会との関わりが多い世代、職業が高い。																			

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

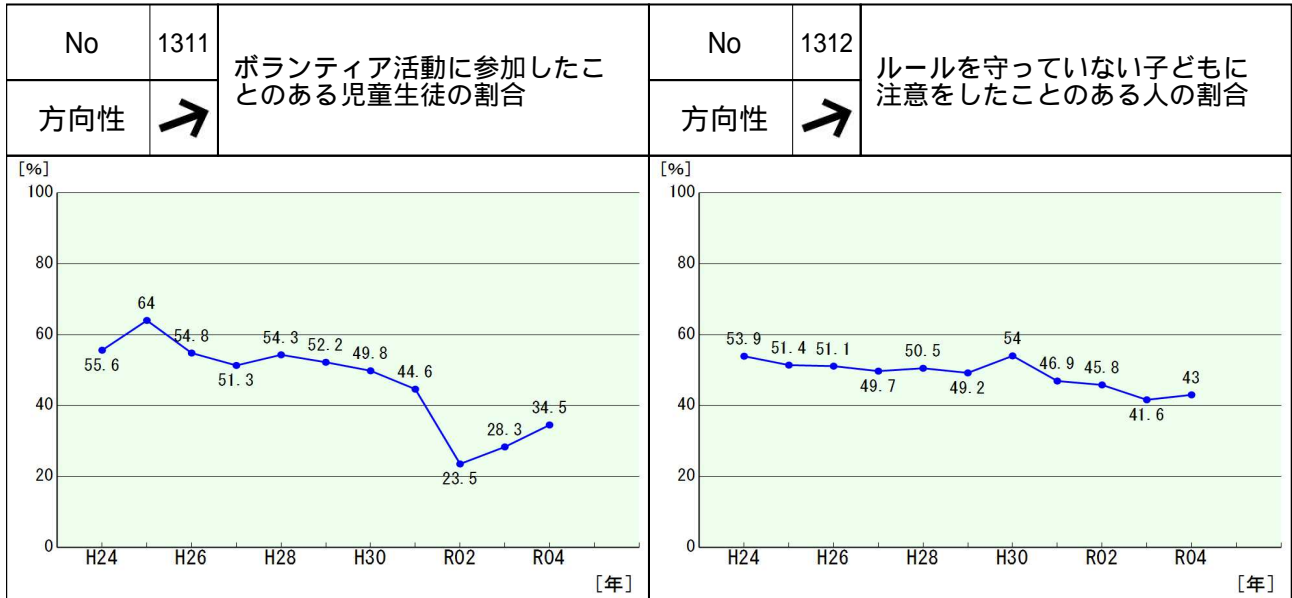
施策の成果動向は、順調でないと評価する。
 まちづくり指標は、対基準値で3.0ポイント低下している。年齢別にみると、10代が最も高く、年齢が上がるにつれて低下する傾向から、学校や家庭等で人に親切にすることを教えられたことが、年齢を重ねることで希薄化していることが要因と考える。
 今後は、家庭内等で親子の会話やふれあいを増進できる方法を伝え、保護者が子どもへの関わり方等を身につけるとともに、保護者自身もマナーや思いやりの大切さを再確認できる機会の提供に努めていく必要がある。

施策 13 マナーが守られ思いやりにあふれる地域をつくる

単位施策 01 子どもが社会性を身につけ思いやる心を育てる

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
 「ボランティア活動参加児童生徒の割合」は基準値から21.1ポイント低下している。これは、回復基調にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったボランティア活動が多かったことが要因と考える。「ルールを守っていない子どもに注意をしたことのある人の割合」は、基準値から10.9ポイント低下している。これは、近年会社員等地域から離れる時間が長い人が増えており、地域の子どもの関わる時間が短いことが要因と考える。
 今後も、家庭、地域及び学校の連携を図り、ボランティア等地域活動の促進に努める必要がある。

施策 13 マナーが守られ思いやりにあふれる地域をつくる

単位施策 02 思いやりに感謝し親切にできる地域をつくる

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移

No	1321	この1か月で地域の人とあいさつや会話をしたことがある人の割合	No															
方向性	➔		方向性															
<table border="1"> <caption>Line Graph Data</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合 [%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>90.6</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>90.3</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>91.4</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>91.1</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>90.4</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>88.7</td> </tr> </tbody> </table>		年	割合 [%]	H24	90.6	H26	90.3	H28	91.4	H30	91.1	R02	90.4	R04	88.7			
年	割合 [%]																	
H24	90.6																	
H26	90.3																	
H28	91.4																	
H30	91.1																	
R02	90.4																	
R04	88.7																	

No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
 「この1か月で地域の人とあいさつや会話をしたことがある人の割合」は基準値から2.9ポイント低下している。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で地域活動等が減少したことにより、地域との関わりが減ったことが要因と考える。また、年齢別では20歳代、職業別では会社員・公務員、学生を中心に、仕事などで地域と関わる時間が減少していることも要因と考える。
 今後は、地域と連携を図り、地域活動を若い世代や会社員等も参加しやすい開催方法に見直すなど、地域との関わりを持つ機会を増やせるよう努めていく必要がある。

章 02 人づくり・心そだて
 節 02 社会教育
 施策 14 楽しみや生きがいを感じるまちをつくる

理念 いきいき

施策主管課【社会教育課】

めざすまちの姿

楽しみや生きがいを感じて学習や余暇活動に取り組んでいる

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

市民の自主的・主体的な学習活動によって、生きがいを持つことができるよう、さまざまな学習の機会や情報を提供します。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	学び教え合う学習活動を充実させる	264,314	262,807
02	読書に親しみ楽しむ機会を増やす	338,476	335,365
施策合計		602,790	598,172

まちづくり指標の分析

No	0021	生涯学習を行っている人の割合	No		
方向性	➔		方向性		
対基準値：4.0ポイント減 / 基準値からの推移： 10年後めざそう値達成率：-55.6% 年齢別：差異有、職業別：差異有、地区別：差異有 要因：市民の学習時間の制約が要因と考える。学生など比較的時間に余裕のある世代や職業は高い。					

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、順調でないと評価する。

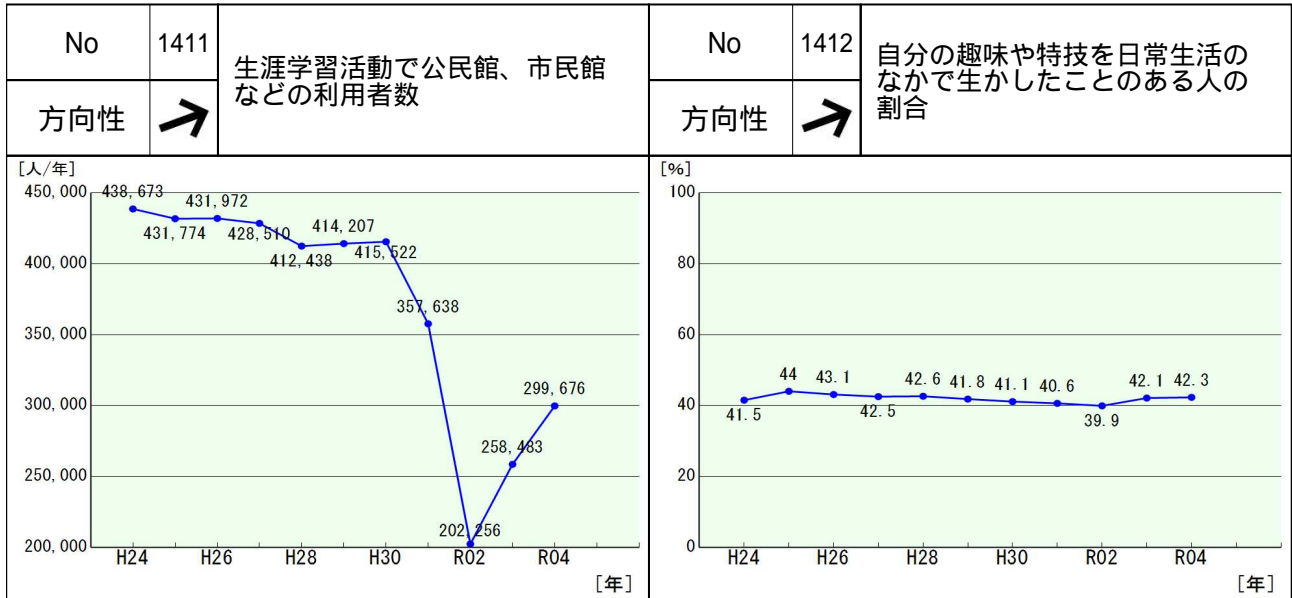
まちづくり指標は、対基準値で4.0ポイント低下し、年齢別では20～50歳代の数値が低下している。これは、就業世代の限られた余暇時間の中で、生涯学習活動に興味・関心が向きにくいことや、そうした世代に対して魅力的な講座の提供ができていないこと、また、自主サークルの参加者の高齢化等に伴う活動規模の縮小などが要因と考える。

今後は、地域や職域におけるニーズを踏まえた講座の企画や内容等の検討を進め、就業世代の生涯学習意欲を醸成するための取り組みが必要である。

施策 14 楽しみや生きがいを感じるまちをつくる
 単位施策 01 学び教え合う学習活動を充実させる

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

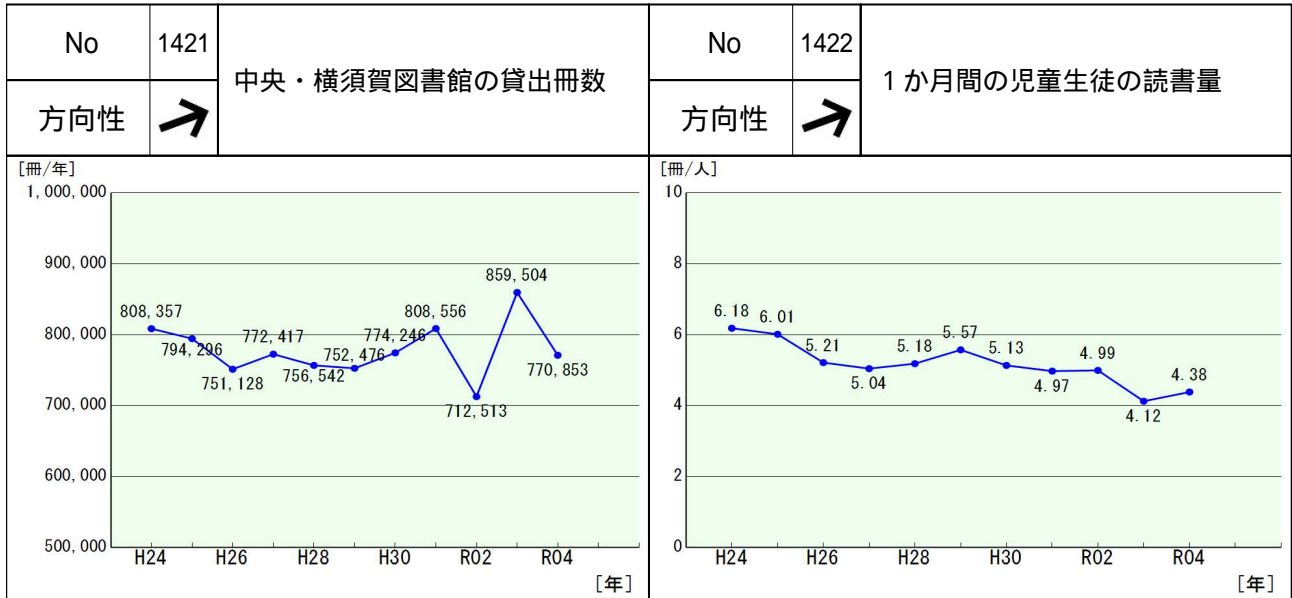
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 「生涯学習活動で公民館、市民館などの利用者数」は、基準値から138,997人低下しているものの、前年度から41,193人向上しており、感染症対策を十分に講じた中で少しずつ活動が再開されてきていることが要因と考える。「自分の趣味や特技を日常生活のなかで生かしたことがある人の割合」は基準値から0.8ポイント向上している。この理由は、感染症対策を十分講じながら、発表等の機会を提供できたことが要因と考える。
 今後は、地域住民の学習ニーズの把握に努め、ニーズに合った学習機会の提供と、自主的な学習活動がしやすい環境整備等に一層取り組んでいく必要がある。

施策 14 楽しみや生きがいを感じるまちをつくる
 単位施策 02 読書に親しみ楽しむ機会を増やす

単位施策主管課【中央図書館】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 「中央・横須賀図書館の貸出冊数」は、基準値から37,504冊減少した。主な理由は、中央図書館が空調改修工事のため4か月間休館したことによるもので、中央図書館の前年度同期間の貸出冊数198,715冊に対し、対前年度で88,651冊減にとどまった。「1 か月間の児童生徒の読書量」は、基準値から1.8ポイント低下したが、前年度からは0.26ポイント増加した。学年別では小学生の読書量が前年度から0.58ポイント増加しており、これは、学級文庫(わくわく文庫)の巡回回数を増加したためと考える。
 今後も、両図書館の蔵書整備に加え、学校等と連携した事業の充実を図る必要がある。

章 02 人づくり・心そだて
 節 03 スポーツ

理念 いきいき

施策 15 だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちをつくる

施策主管課【スポーツ課】

めざすまちの姿

気軽にスポーツを楽しんでいる

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

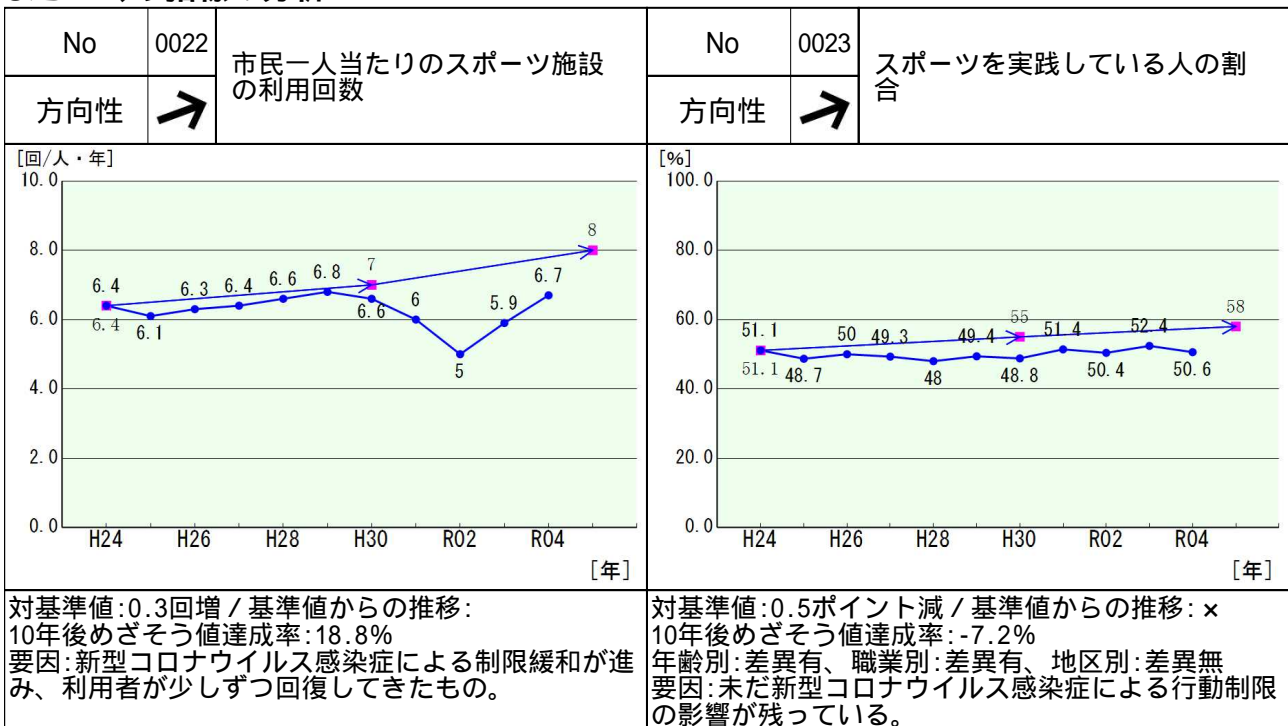
市民にスポーツの楽しさや大切さを広め、だれもがスポーツに親しめる環境を整備します。
 また、市民がいきいきとした生活を送ることができるよう、各種スポーツ活動をとおして、健康づくりを進めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	スポーツに親しむ機会を提供する	498,753	491,114
02	スポーツで活躍する人を支援する	5,240	4,972
施策合計		503,993	496,086

まちづくり指標の分析



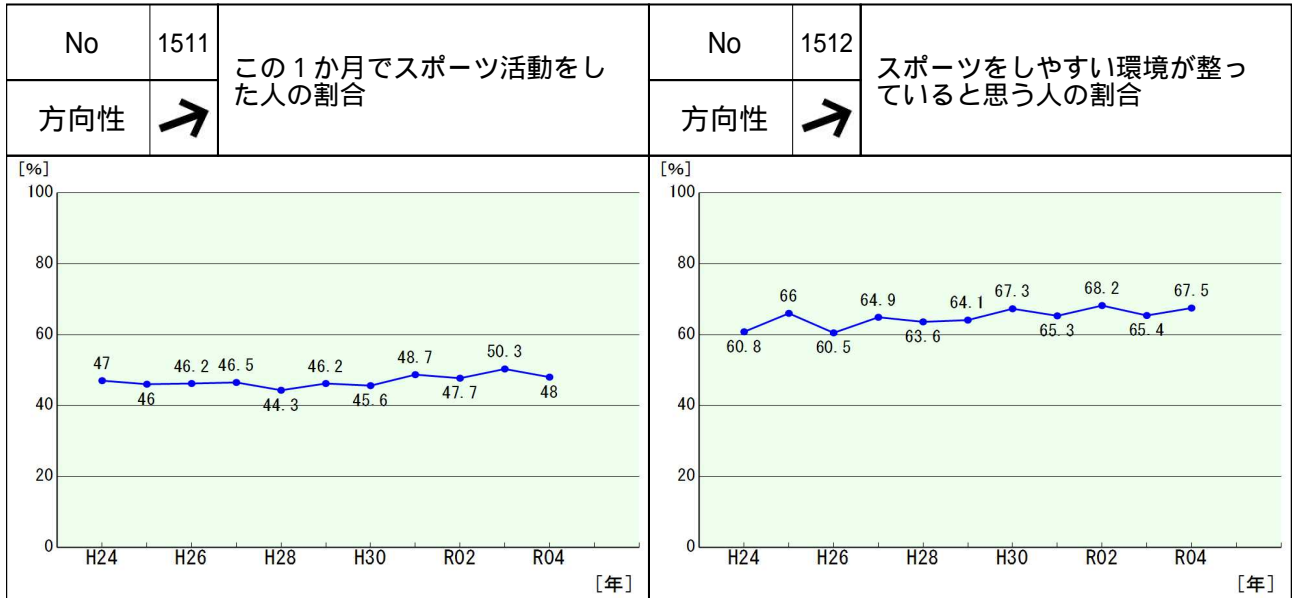
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、順調でないとは評価する。
 「スポーツ施設の利用回数」は基準値から0.3回増加しているものの、「スポーツを実践している人の割合」は基準値から0.5ポイント減少しており、年齢別では20～30代、職業別では会社員・公務員の数値が低くなっている。これは、各種事業を実施しているものの、仕事や家事で忙しいことなどから、スポーツに取り組む意識の醸成に繋がっていないものと考えられる。
 今後も、だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちとなるよう、スポーツを「する」「みる」「ささえる」視点での取り組みを進め、スポーツに関わる人を増やしていく必要がある。

施策 15 だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちをつくる
 単位施策 01 スポーツに親しむ機会を提供する

単位施策主管課【スポーツ課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

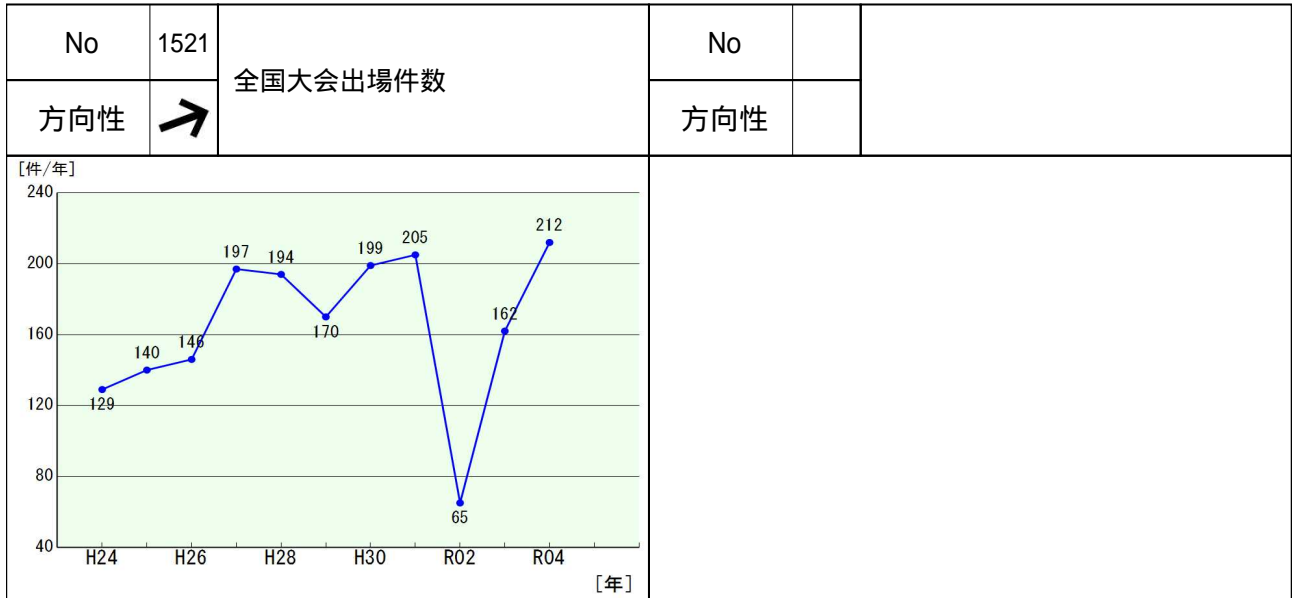
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
 「この1か月でスポーツ活動をした人の割合」は、基準値から1.0ポイント向上、また「スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合」は、基準値から6.7ポイント向上している。
 新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、東海ハーフマラソンを3年ぶりに開催できたことや市民体育館の外壁改修工事や柔道場の畳更新事業などを着実に実施し、スポーツに対する機運を高めることができたものとする。
 今後も東海ハーフマラソンをはじめ各種事業において、魅力ある事業内容を展開するとともに、スポーツ施設の改修を進め、スポーツに取り組みやすい環境整備に努めていく。

施策 15 だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちをつくる
 単位施策 02 スポーツで活躍する人を支援する

単位施策主管課【スポーツ課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
 成果指標は、基準値から83件、前年度から50件増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響による制限緩和が進み、徐々にスポーツ大会が開催されるようになってきたものとする。また、ふるさと大使の企業スポーツチームと連携し、スポーツ出前授業や市民とふるさと大使が交流できるイベントを開催し、認知度を上げ、応援するとともに、市民のスポーツの機運を高めることができたとする。
 今後もトップアスリートの試合観戦やスポーツ教室を実施するなど、世界や全国で活躍する選手を輩出できるよう支援していく。

章 02 人づくり・心そだて
 節 04 文化
 施策 16 文化に親しみ心豊かなまちをつくる

理念 いきいき

施策主管課【文化芸術課】

めざすまちの姿

文化に親しみ心豊かな生活を送っている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

市民が積極的に参加できる文化事業を開催し、個性豊かな文化を振興します。
 また、芸術劇場を拠点として公民館・市民館などさまざまな場で、文化による交流を促し、まちのにぎわいづくりに貢献します。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	市民の文化芸術活動を支援する	9,118	9,110
02	感動が生まれる文化芸術を提供する	442,172	433,156
施策合計		451,290	442,266

まちづくり指標の分析

No	0024	文化・芸術活動を行っている人の割合	No	
方向性	➔		方向性	

対基準値:2.1ポイント減 / 基準値からの推移: x
 10年後のめざそう値達成率:-38.9%
 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有
 要因:自営業や学生など比較的時間に余裕があり文化芸術活動に触れる機会が多い人が高い。

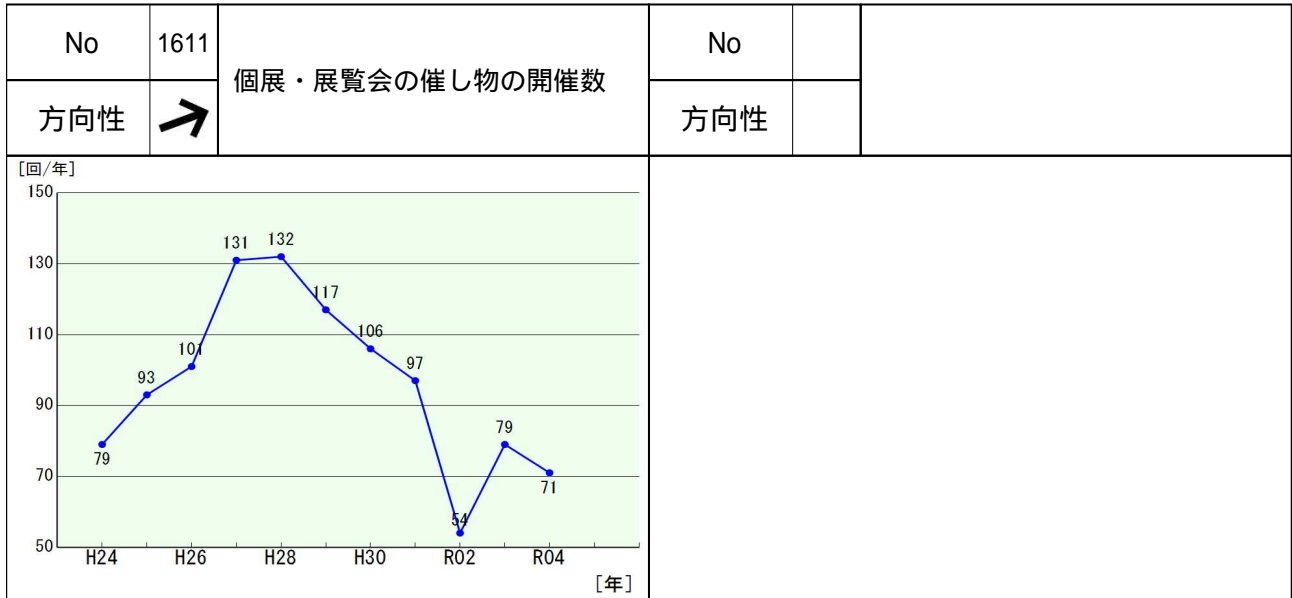
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 まちづくり指標は、基準値から2.1ポイント減、前年度から1.9ポイント減となったが、芸術劇場の開館等により、継続的に市民の文化芸術への関心が高まり事業参加者数も増えており、ほぼ横ばいの数値で推移している。また、成果指標は、催し物の開催数は基準値をやや下回ったが、「事業への参加者数」は増加し基準値を上回っている。特に、日常的に文化芸術に触れる機会が多いと考えられる世代や業種の方を中心に、比較的高水準で推移している。
 今後も、市内各所で文化・芸術に触れあえる機会を提供し、気軽に体験できるワークショップ等の機会を増やすことで、文化・芸術に参加できる環境を整備していく。

施策 16 文化に親しみ心豊かなまちをつくる
 単位施策 01 市民の文化芸術活動を支援する

単位施策主管課【文化芸術課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

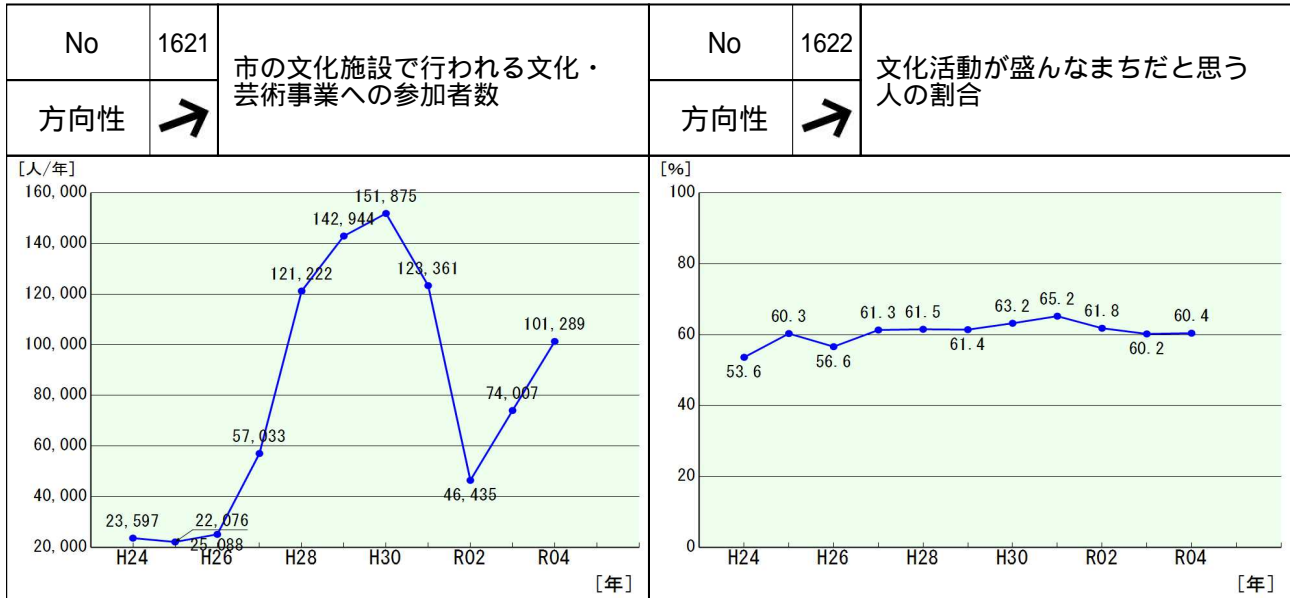
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 成果指標は、基準値と比べ減少している。その理由は、状況に応じた感染対策を講じながら展示会等を開催する施設等が増えたものの、新型コロナウイルス感染症による様々な制限が緩和され、学業等が活発化し、文化芸術活動に割く時間が減少したことによるものと考えられる。
 今後も、市内各所で多くの人が作品の制作体験や鑑賞ができるよう、活動支援を続けていく。

施策 16 文化に親しみ心豊かなまちをつくる
 単位施策 02 感動が生まれる文化芸術を提供する

単位施策主管課【文化芸術課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
 「文化・芸術事業への参加者数」は、基準値から77,692人増加し、前年度からも27,282人増となった。その理由は、時期に応じた感染予防対策を講じつつ事業を実施したためと考える。
 「文化活動が盛んなまちだと思う人の割合」は、対基準値で6.8ポイント増加し、前年度と比べると40代及び50代で増加している。その理由は、文化活動への関心は継続して高いが、学業等が活発化し、若い世代において文化芸術活動に割く時間が減少したためと考える。
 今後は、市民が文化芸術に関心を持ち、触れ合える機会を提供できるよう、時期に応じた対策を講じながら、市内各所で文化芸術事業を開催し、施策を推進していく。

章 02 人づくり・心そだて
 節 05 文化財
 施策 17 郷土の歴史や文化を大切に継承する

理念 活力

施策主管課【社会教育課】

めざすまちの姿

地域の歴史や伝統文化が大切に守られ継承されている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

伝統文化・文化財の継承をとおして、世代間の交流を図り、祭りや伝統文化・文化財を生かしてまちに愛着を持てる環境を整備します。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	伝統文化を大切に守る	53,091	10,304
02	郷土の歴史と文化に親しむ	35,009	34,847
施策合計		88,100	45,151

まちづくり指標の分析

No	0025	No	0026
方向性	➔ 郷土の歴史などに愛着を持っている人の割合	方向性	➔ 15歳～30歳の若者のなかで、伝統文化を継承している団体に所属している人の割合
<p>[%] 100.0 80.0 60.0 40.0 20.0 0.0 [年]</p>		<p>[%] 3.00 2.00 1.00 0.00 [年]</p>	
<p>対基準値:2.7ポイント減 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:-55.1% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有 要因:若年層の郷土の歴史への興味低下が要因と考える。比較的時間に余裕のある世代、職業が高い。</p>		<p>対基準値:0.3ポイント増 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:47.2% 要因:地域の伝統文化団体が継承を意識した活動を実施してきた効果と考える。</p>	

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、順調でないと評価する。

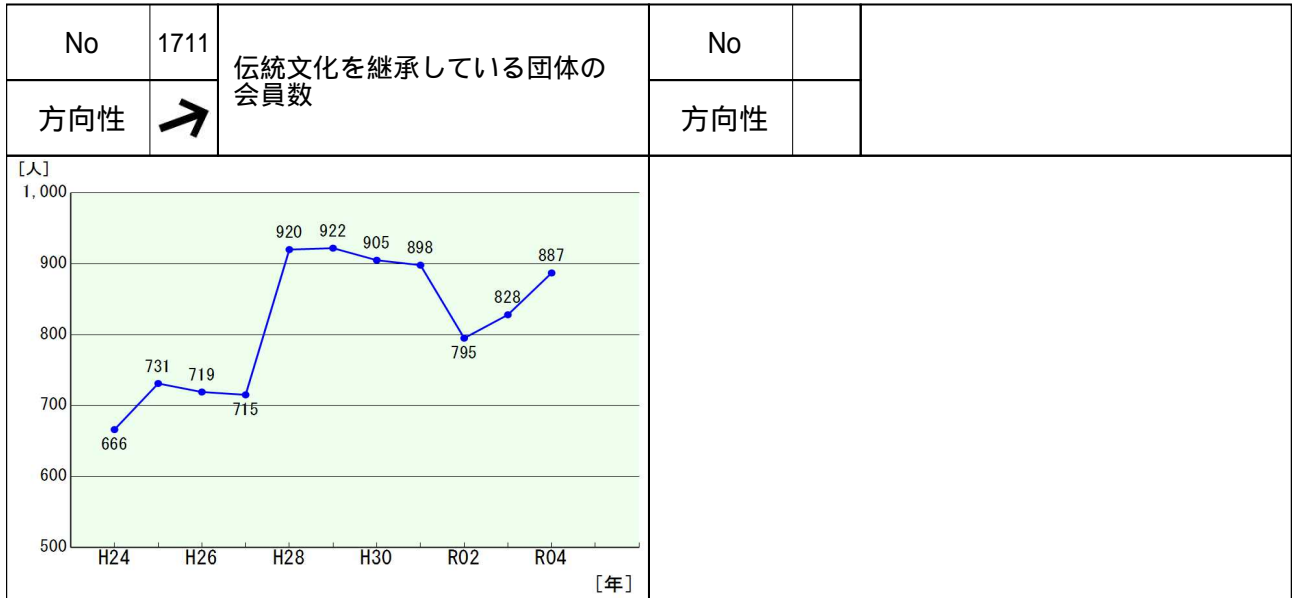
「郷土の歴史などに愛着を持っている人の割合」は、対基準値で2.7ポイント低下しており、「15歳～30歳の若者のなかで、伝統文化を継承している団体に所属している人の割合」は対基準値で0.25ポイント向上している。これは、地域のまつり等伝統文化を継承する団体の積極的な活動等により、団体に所属する若者は増加しているものの、伝統文化や郷土の歴史等についての啓発が十分ではないことから広く愛着につながっていないと考える。

今後は、伝統文化や郷土の歴史等の啓発方法について検討し、郷土の歴史や文化の継承につなげていく必要がある。

施策 17 郷土の歴史や文化を大切に継承する
 単位施策 01 伝統文化を大切に守る

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
 成果指標は、基準値から221人向上している。その理由としては、各種団体が補助金等を活用し、伝統文化を継承するための活動へ積極的に取り組んでいることが要因と考える。
 今後も、文化財等の維持管理に対する補助事業を活用した適切な保存や文化財等に触れ合う機会の提供により、文化財・伝統文化を継承していく環境づくりに取り組んでいく。

施策 17 郷土の歴史や文化を大切に継承する
 単位施策 02 郷土の歴史と文化に親しむ

単位施策主管課【社会教育課】

成果指標の推移

No	1721	市の歴史や伝統文化について知っている人の割合	No																										
方向性	➔		方向性																										
<table border="1"> <caption>市の歴史や伝統文化について知っている人の割合 [%]</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合 [%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>76.1</td></tr> <tr><td>H25</td><td>69.9</td></tr> <tr><td>H26</td><td>67.1</td></tr> <tr><td>H27</td><td>69.1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>68.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>67.6</td></tr> <tr><td>H30</td><td>63.3</td></tr> <tr><td>H31</td><td>68.8</td></tr> <tr><td>R02</td><td>69.2</td></tr> <tr><td>R03</td><td>69.3</td></tr> <tr><td>R04</td><td>65.1</td></tr> </tbody> </table>			年	割合 [%]	H24	76.1	H25	69.9	H26	67.1	H27	69.1	H28	68.4	H29	67.6	H30	63.3	H31	68.8	R02	69.2	R03	69.3	R04	65.1			
年	割合 [%]																												
H24	76.1																												
H25	69.9																												
H26	67.1																												
H27	69.1																												
H28	68.4																												
H29	67.6																												
H30	63.3																												
H31	68.8																												
R02	69.2																												
R03	69.3																												
R04	65.1																												

No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
 成果指標は、対基準値から11.0ポイント低下しており、年齢別では若年世代の割合が低い。
 その理由としては、平洲記念館等において各種啓発事業を実施しているが、高齢世代の講座等の受講者が多く、若年層世代の受講者が得られていないことが要因と考える。
 今後は、歴史や伝統文化への関心が薄い若年層世代に対するPR方法等の工夫を検討していく必要がある。